

令和8年度入学試験問題（帰国生徒特別選抜）

小論文

人文社会学部 国際法政学科

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。
6. 解答する際の字体は楷書とし、ていねいに書くこと。

問 題

次の課題文を読んで、問1と問2に答えなさい。

- 問1 下線部について、「典型的」な都会の住人が男性であるとはどのような意味か、課題文の内容を踏まえて400字以上500字以内で説明しなさい。
- 問2 ジェンダー規範が埋め込まれた都市を、性差別のない暮らしやすい都市へと導くためにはどのような方策が考えられるか。課題文の具体例も参考にしながら、あなた自身の考えについて、600字以上800字以内で論じなさい。

非公開

非公開

非公開

非公開

(レスリー・カーン 東辻賢治郎 (訳) (2022) 『フェミニスト・シティ』 晶文社, 52～58 ページ, 抜粋・一部改変)

〔注釈 1〕 ヘテロセクシャル：異性を恋愛対象とする性的指向のこと。

〔注釈 2〕 シスジェンダー：誕生時に割り当てられた性別と自分の性をどのように認識するかという性自認が一致している人のこと。

〔注釈 3〕 スプロール化：十分な計画がなく適切なインフラ整備などがなされないまま、都市が郊外へと無秩序に拡大していくことを指す。

〔注釈 4〕 ジェントリフィケーション：地域に居住する住民が富裕層へと入れ替わることにより、地域の再活性化が行われること。他方で、従来当該地域に居住していた住民のうち、低所得者層や高齢者層の立ち退きにより地域の再活性化がもたらされている点が、単なる再開発とは大きく異なる。

令和8年度入学試験問題（帰国生徒特別選抜）

小論文

人文社会学部 国際法政学科

出題の意図

この小論文試験の出題意図は、受験生が社会科学系の学問を学ぶ上で必要となる、現代社会の抱える政治的・法的課題に対する関心・知識，理解力・分析力，及び他者への説明能力をどの程度持っているのかを見ることである。

問1は、ジェンダー規範と都市のあり方の関係性について、本文の内容を踏まえて的確に説明をすることを求めている。これは、本学科のアドミッション・ポリシーである、人間社会や社会科学への深い関心を持ち、大学における人文社会分野の学びの土台となる基礎的な力を有しているのかを問う出題である。

問2は、課題文の内容を踏まえた上で、現代の都市空間が抱えるジェンダー格差の問題の解決方策について、自らの考えを論理的に説明することを求めている。これは、本学科のアドミッション・ポリシーである、柔軟かつ総合的な思考力を持ち、主体的に学ぶ意欲を有しているのかを問う出題である。